

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	就労部会	
日 時	令和 7 年 5 月 9 日（金） 14 時 30 分～15 時 55 分		
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 12 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	① 部会員自己紹介 ② 今年度の部会の進め方について ③ 全体会の報告 ④ 年間スケジュールについて ⑤ 障害者就労施設商品・作業カタログについて ⑥ 令和 7 年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について ⑦ 本日のまとめ、次回の検討課題について		
報告・検討の内容	① 部会員自己紹介 ・令和 7 年度 部会長、副部会長、部会員、事務局が順に自己紹介。 →リタリコ藤が丘真田さんが、次回から関谷さんに交代。 ② 今年度の部会の進め方について（日岡） ・4つの部会が抱える課題の共有と、議論の前進の第 1 歩とすべく、全体会を発足させ、第 1 回目を令和 7 年 4 月 22 日に開催したことを報告。専門部会については、各部会で協議すべき内容に応じて回数を決定したことを報告。 ・就労部会の協議内容と回数 ① 就労を見据えた学齢期からの支援 ② 就労施設商品作業カタログの修正 ③ 学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会 以上を含めた合計 4 回で協議していくこと報告。 ・部会の回数が減ったことにより、開催日までの間が空くため、その間に協議すべき点ができただけの場合には、電子連絡帳ヘルピーネットやメールを活用して、皆様のご意見を伺っていきたいことを説明。 ・未登録の事業者への登録を促進し、将来的にヘルピーを利用して、支援対象者の情報共有ができるようになることを目標にしていきたいことを説明。（渥美） ③ 全体会の報告（宮川） ・各部会の部会長・副部会長と、事務局が集まり実施。就労部会は就労支援施設のカatalogの修正に取り組んでいることと、学齢期からの早期支		

援の重要性、幼少期からの日常生活やコミュニケーションスキルの向上を目指していく必要を感じていることを伝えた。またそのためには子ども部会との協働が必要と考えていると話したところ、子ども部会でも福祉と学校、家庭の連携の重要性を感じていると話があったことを報告。その後行われた意見交換で、意思決定支援や強度行動障害への支援、幼少期からの家族支援等、部会での課題はところどころつながっていることが確認できた。各部会に持ちかえり、今年度の部会の取り組みに取り入れていくこととなったことを報告。

#### ④ 年間スケジュールについて（水谷）

全体会の報告を受け、年間スケジュールの予定を説明。

第2回：令和7年6月4日（水）10:00～12:00

「障害がある（と思われる）お子さんの保護者向け学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会」実施

第3回；令和7年8月8日（金）14:30～16:00

① 障害者就労施設商品・作業カタログの発表

② 説明会の振り返り及び来年度の説明会についての協議

→道の駅 マチテラス日進のオープン日のため

8月1日（金）14:30～16:00に変更。

第4回：10月の部会は、就労部会が10日、子ども部会は15日に部会が開催予定となっている。10月を一緒に開催し、協議の場とできないかと思っていることを提案。

→部会員の同意が得られたため、事務局から子ども部会の事務局に伝え、6月18日の子ども部会で協議していただけるよう依頼する。

<出された意見>

- ・昔は中学生や高校生になったぐらいから就労に向けて取り組めばいいと言われてきた。今は小さい頃から就労という目標を意識していかないと、就労に結びつくことが難しいと感じている。
- ・B型事業所を見学して、紙の折り方から教えてもらっている姿を見て衝撃を受けた。積み重ねが大切であることを伝えていきたい。
- ・子ども時代を支援する事業所が、意識していく必要もある。その部分の繋りについて、10月の部会でどう考えるかをしっかり検討したい。こちらとしてはこう考えていますが、子ども部会としてはどう考えているのか、どのようなスキルが必要なのかを話し合う機会になるとよい。
- ・ブレインストーミングができないか、大人数だと話し辛いのが少人数でのグループになることで、意見を出しやすくなるのではないかと。
- ・会社訪問をした際「積極的に障害者雇用について考えられない。」と言われたことがある。会社への働き掛けも必要。
- ・身につけておくべきことについて、お母さんたちに直接お話しできる機会があるといいのではないかと感じ、今回就労説明会の中で、10分と短い副部長が所属している就労移行支援事業所パッソ日進から、お話をさせていただくことになった。
- ・子ども部会が考える地域課題と、就労部会が考える地域課題を照らし合わせ、話し合う機会になると良いのではないかと。

#### ⑤ 障害者就労施設商品・作業カタログについて（草野）

- ・A3を2つ折りで作成を予定。5月半ばには部会員で内容を確認できる

	<p>見込み。6月中に完成予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品や作業の値段やQRコード等、記載内容を統一するか確認を実施。 →掲載内容は事業所の希望に沿うことに。</li> </ul> <p>⑥ 令和7年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について（中村）</p> <p>タイムスケジュール、タイムテーブル、設営図、チラシを用いて当日の進行について説明を実施</p> <p>→前日の準備参加者を募ったところ、部会長、副部会長、岡田、竹内、中屋、村野、中田、市役所、事務局の計14人で実施できることとなった。</p> <p>→後日、発表者の打ち合わせを実施予定。</p> <p>⑦ 本日のまとめ、次回の検討課題について（水谷）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども部会と10月に共同開催できるか事務局が調整し、ヘルピーとメールで情報共有を行う。</li> <li>・第2回就労部会「障害がある（と思われる）お子さんの保護者向け学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会」終了後、ヘルピーとメールで第3回部会に向けて、説明会の振り返りと来年度の説明会に向けて意見を募るので、ご協力をお願いします。</li> </ul>
提出書類	別添の通り
次回開催日時	令和7年6月4日（水）
次回会場	日進市民会館 小ホール・展示ホール

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	就労部会
	令和 7 年 5 月 9 日（金） 14 時 30 分 ～15 時 55 分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優	② 岩井 知子
③ 小山 喜久	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 眞田 苑子
⑦ 吉川 正洋	⑧ 鈴木 英雄
⑨ 岡田 倫和	⑩ 村野 政章
⑪ 菅原 淳（欠席）	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月(欠席)
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第2回	就労部会	
日時	令和7年6月4日(水) 9時00分～12時15分		
会場	日進市民会館 小ホール・展示ホール		
出席者	部会員 13名	市職員 1名	事務局 6名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なし</span>		
次第	<p>「令和7年度障害がある(と思われる)お子さんの保護者向け 学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会」開催</p> <p>1 「福祉サービスを利用した福祉就労について」 日進市役所介護福祉課 吉ノ元 菜乃</p> <p>2 「就労アセスメントについて」 日進市障害者相談支援センター 宮川 みどり</p> <p>3 「進路で大切にしたいこと」 愛知県立三好特別支援学校 進路指導主事 岡田 倫和</p> <p>4 「就職につながるスキルについて」 就労移行支援事業所パソ日進校 岩井 知子</p> <p>5 障害福祉サービス事業所の各ブースで個別相談会 個別相談ブース：18ヶ所</p>		
報告・検討の内容	<p>講演時間：午前10時00分～午後12時00分 場 所：日進市民会館 小ホール・展示ホール 参 加 者：保護者45名、教育機関・相談支援事業所等の関係機関42名、 障害福祉サービス事業所20名、部会員20名 合計127名</p> <p>1 説明会の進行状況 (1)講演会は概ね時間通りに進み、時間内に終了することができた。あまり時間がなかったため、講演部分での質疑応答の時間は設けられなかった。 (2)講演会終了後、アンケートを記入していただく時間を作ったことにより、アンケートの回収率は昨年の2倍近くに上がり、改善された。 (2)個別相談会に参加した保護者は、講演会参加者の内半数ほどだった。</p> <p>2 来場者アンケート結果 配布数87部、回収数52部、回収率60% (1)来場者アンケート結果から ①関係機関の参加が多いため、「お子様について」という項目に無回答が多かった。来年度は質問項目の変更が必要。 ②昨年度に続き、三好特別支援学校通学中のお子さんの保護者と、市内小中学校通学中のお子さんの保護者の数を比べると、市内小中学校通学中のお子さんの保護者が2倍以上になっている。また</p>		

	<p>市内中学校に通学されているお子さんの保護者の出席が一番多かった。学齢期からの目標の確立や情報収集が大切ということを伝える会として、意義があったと考える。</p> <p>③講演資料があって分かりやすかったという意見と、早口で分かりづらかったという2つの意見に分かれた。保護者の変化に対応し、障害福祉にあまり馴染みのない方にも、わかりやすい資料の提供が求められている。</p> <p>④就労選択支援事業の説明が聞いて良かったという声が出ている。不確定な事柄が多い時期ではあったが、現時点でできる説明を実施したことは意義があった。</p> <p>3 個別相談会参加障害福祉サービス事業所アンケート 参加障害福祉サービス事業所 18ヶ所 内、部会員以外の事業所は 10ヶ所 回答数 5ヶ所、回収率 50%</p> <p>(1)参加障害福祉サービス事業所アンケート結果から</p> <p>①昨年より時間が短くなっているため、保護者が聞きに行きたい事業所すべてに行けたのか心配との声が上がった。 →保護者から時間が短くなったことへの異議は上がっていない。</p> <p>②他市町の関係者の参加も多く、日進市内の事業所を知ってもらう機会になった。</p> <p>③個別相談ブースで、講演部分の補足説明を実施していただいた。アンケートに回答していただいた事業所は講演部分への参加率が高く、その結果が上手く反映された。</p> <p>4 部会員アンケート 参加部会員 20名 内、事務局以外の部会員は 13名 回答数 10名、回収率 80%</p> <p>(1)アンケート結果から</p> <p>①事前準備や会の進行はスムーズに進んだ。</p> <p>②講演会について、駆け足な印象をもつ部会員と、わかりやすかったという印象を持つ部会員に分かれた。</p> <p>③個別相談会では、予約シートを作ったことが役立った。</p> <p>④展示ホールに誘導できるよう、プロジェクターを活用する提案があった。</p> <p>⑤講演会で浮かんだ疑問を、ブースで質問される保護者があった。部会員の間で共通認識が持てているため、各ブースで説明ができた。</p> <p>⑥時間が短くなり、内容がコンパクトになったことで要点がまとめられ、会の運営のための負担も軽減された。</p> <p>5 検討課題</p> <p>(1)講演会に参加していた保護者団体から、相談員へ団体の勉強会への出張依頼があった。就労部会部会員の就労移行事業所に、この依頼をお願いできないか？</p>
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和 7 年 8 月 1 日 (金) 14 : 30 ~ 16 : 00
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	就労部会
	令和 7 年 6 月 4 日（水） 9 時 00 分～12 時 15 分	
会 場	日進市日進市民会館 小ホール・展示ホール	

専門部会員	
① 中屋 優	② 岩井 知子
③ 小山 喜久	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 眞田 苑子
⑦ 吉川 正洋	⑧ 鈴木 英雄
⑨ 岡田 倫和	⑩ 村野 政章
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	日岡 由季枝	市確認欄	
専門部会名	第3回	就労部会	
日時	令和7年8月1日（金） 14時30分～16時10分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8名	市職員 1名	事務局 4名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和8年度障害福祉サービス説明会に向けて</li> </ol> </li> <li>2 障害者就労施設商品・作業カタログについて <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 進捗状況</li> <li>(2) 周知について</li> </ol> </li> <li>3 子ども部会との共催について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実施日</li> <li>(2) 会議の進め方</li> </ol> </li> <li>4 本日の決定事項のまとめ及び、次回の検討課題について</li> </ol>		
報告・検討の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和7年度学校卒業後の進路を考えるための障害福祉サービス説明会について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和8年度障害福祉サービス説明会に向けて 今年度の参加者、参加事業所、部会員から回収したアンケート結果を確認。（中村） 内容について、話が聞けてよかったとか、具体例があってわかりやすかったというご意見がある一方、初めてだったので理解しきれない、予備知識がなかったため理解がついていけないというご意見もあった。 各部会員からの感想、改善点を確認。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・半日開催でも混乱はなかった。</li> <li>・半日開催とすることで講演者が話をまとめるのに苦労しただろうが、就職フェアのように事前に講演部分の動画を撮影して流し続けたり、質問がある方は質問に行けるような形もいいかもしれない。</li> <li>・未就学から高校生までの家族誰でも参加可能と対象を広くしているため、それぞれの情報量にも差がある。特に初めての方への説明が必要になるのではないか。</li> <li>・本会議においても説明がわかりにくいという意見があった。わからない人向けの説明が必要なのではないか。</li> <li>・豊田市では参加事業所一覧を配付している。用語集を配付するのもいいのではないか。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>		

- ・三好特別支援学校高等部の岡田先生の講演は事例を交えての話であり、イメージしやすい印象であり、わからないという印象を持つのであれば市・センターの制度の話ではないか。
  - ・わからなかったと言いついて残して帰られた方は、専修学校在学中のご家族であって、小学生の家族ではなかったため、低年齢層に合わせた内容にすれば解決するわけではなさそう。
  - ・制度説明をかみ砕くには限界があるが、将来の見通しが立つように、A型、B型、生活介護、移行、審査会や手続きの内容を説明していたが、各事業所から事業内容の説明をしてから、制度については介護福祉課に聞いてくださいという内容でもいいのではないか。
  - ・家族は事業所とのつながりを求めているのか、進路を選択するための助けになる内容か、大まかな就労に関する情報が欲しいのかの3つにわかれるのではないか。
- この説明会の目的は、アセスメント実習・就労選択支援を適切な時期にうけることができるよう促すものであり、説明会の対象は中学生・高校生であることを確認。
- 令和8年度については、事業所とのつながりは最小限とし、進路先（就労移行、A型、B型、生活介護等）の事業説明を各事業所からしてもらい、能力を見極めるためのアセスメント実習、就労選択支援事業が必要であることを伝え、制度説明については流れ等簡単に行うような内容で検討していく。

## 2 障害者就労施設商品・作業カタログについて

### (1) 進捗状況（草野部会員）

名古屋学芸大学の学生によりカタログの修正作業がほぼ完了。頻繁に更新しなくても済むように、1ページ目に利用にあたってということで、令和7年8月に作成したものであり、商品・作業の内容や価格について変更する必要があるため各事業所に問い合わせをしていた。注意点を記載した。

### (2) 周知について（日岡、渥美）

印刷については、草野先生の研究の一環で100部印刷していただけるというご提案があり、大学での必要部数以外のものを部会として活用させていただけることになったことを報告。

今までコピー機での印刷で冊子にして配架してきたが、草野先生のご厚意により印刷していただけることになったため、見本として公共施設等には設置して、QRコードを掲載したPOPを準備して電子データで見ていただく方法を考えている。

周知先については、公共施設、大学、市民向けには区・自治会にはカタログを配付。子ども会はデータで周知する。その他、広報への掲載や電子連絡帳ヘルピーネットで医療機関や介護保険事業所を検討中。商工会のご協力を得て、市内の企業への周知を図りたいが、電子データでは周知先が少ないため、周知チラシを別途作成していく。部会員が所属する事業所と関わりのある企業についても、カタログの見本と周知チラシ等を用いて周知協力を得たい。

POPはカード型ではなく、パンフレットスタンド等に貼り付けてスイングするものを想定している。経費はセンターが捻出できると考えている。

→チラシのデザインは名古屋学芸大学の学生の協力を得られることに

	<p>なる。ホームページ上に掲載するデータは圧縮していただく。 草野先生と相談しながら、事務局で周知に向けて進めていくことになる。</p> <p><b>3 子ども部会との共催について</b></p> <p><b>(1) 実施日（日岡）</b> 子ども部会に共同開催を打診したが、就労部会の日程でほぼ参加が見込めないため、子ども部会の日程で開催できればと考えている。 日時：10月15日（水）10時から11時30分 会場：日進市障害者福祉センター大会議室を予定。 →子ども部会に対して、就労という第一のゴールを意識して、つながりのある支援を目指したい旨を共有するとともに、継続開催できるようにしていくことが必要であることを共有。</p> <p><b>(2) 会議の進め方</b> 資料を元に説明（中村）</p> <p><b>4 本日の決定事項のまとめ及び、次回の検討課題について</b> 次第の各項目について、協議内容を再度確認した。</p>
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和7年10月15日（水）
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	就労部会
	令和7年8月1日（金） 14時30分 ～16時10分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	
① 中屋 優	② 中河 智幸
③ 小山 喜久（欠席）	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 関屋 悠（欠席）
⑦ 吉川 正洋（欠席）	⑧ 鈴木 英雄
⑨ 岡田 倫和	⑩ 村野 政章（欠席） 代理：黒田 忠晃
⑪ 菅原 淳（欠席）	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

（市職員）

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

（事務局）

① 渥美 則親	② 八木 柚月
③ 宇佐美 香津美（欠席）	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり（欠席）	⑥ 中村 美智子

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川 みどり	市確認欄	
専門部会名	子ども部会 第3回 就労部会 第4回	子ども部会・就労部会合同部会	
日時	令和7年10月15日(水) 10時00分～12時10分		
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 19名	市職員 2名	事務局 7名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介</li> <li>2 合同部会開催の経緯</li> <li>3 放課後等デイサービスでの支援・課題 放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん 資料：子ども支援のための相談の流れ 日進市障害者相談支援センター 白井より 本人支援の視点：5領域とは</li> <li>4 就労移行支援事業所での支援・課題 就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん 資料：福祉サービスを利用した福祉就労について 日進市役所 介護福祉課 吉ノ元より 就労移行支援事業所での支援・課題 パッソ日進校 週間スケジュール</li> <li>5 B型事業所での支援・課題 就労継続支援B型事業所 ポレポレハウス 水谷さん 資料：ポレポレハウスにおける利用困難事例から見る支援の課題</li> <li>6 質疑応答</li> <li>7 全体ミーティング (1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？ (2)来年度、合同で何が行えるか？</li> <li>8 まとめ</li> </ol>		
報告・検討の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介 各部会員全員の自己紹介</li> <li>2 合同部会開催の経緯 子ども部会・就労部会を含む専門部会は平成23年に発足し、つながりのある支援の連携を目指して協議を重ねてきた。しかし進展が十分でない現状を踏まえ、令和7年4月の全体会で「つながりのある支援」「子どもの頃から就労を意識した支援」「親亡き後の自立を見据えた支援体制作り」の重要性の再確認を行った。その結果、今回の子ども部会と就労部会の合同部会の開催に至った。今回初回となる合同部</li> </ol>		

会は、児・者の事業所が取り組み内容の相互理解を深め、共通認識を持ち、今後の支援を構築していくための第一歩として企画した。

3 放課後等デイサービスでの支援・課題

放課後等デイサービス リブレイン 丸山さん

4 就労移行支援事業所での支援・課題

就労移行支援事業所 パッソ日進校 中河さん

5 B型事業所での支援・課題

就労継続支援B型事業所 ポレポレハウス 水谷さん

6 質疑応答

<質問1>

引きこもりの方や、退院直後の方等、職業準備性ピラミッドの基礎部分ができていない方等もおられると思うが、その方も就労移行の期限の2年間の中で就労に結びついているか？

<回答>

多くの方が就労につながっていかれる。しかし難しい方には本人の意向を確認しつつ、他サービスへ移行される方もおられる。

<質問2>

事業所に通う成人した方でお金の使い方が適切でない方がおられる。ご両親も困ってしまっている。子どもの事業所で幼少期にできるアプローチはどんなものがあるか？

<回答>

- 認知・行動・感覚・数の概念など「5領域」で発達状況を分析し、支援していく
- 数字の理解や金銭感覚が未発達な場合は、視覚教材などを活用して支援する
- 学校の学習レベルや生活状況も踏まえて個別対応
- 模擬買い物体験（100円でお菓子を買うなど）
- 紙芝居を使った「お金でできること・できないこと」の学習
- おやつ時間に「お金を払う→物を得る」経験を積む
- 高等部では金額を決めて使う練習
- 携帯決済のブロックなど、保護者への支援も実施

<質問3>

感情の起伏が激しく、暴言・暴力が見られる方に、幼少期にどんな支援があったらよいと思われるか？

<回答>

エコマップを活用し、頼れる人・機関を可視化。幼少期からの支援履歴や社会資源の活用状況を確認していく。幼少期からの環境整備と医療機関との連携も含めた支援の積み重ねが、成人後の安定につながる。保育園・学校など、早期から頼れる環境があったかが鍵になる。

7 全体ミーティング

(1)切れ目のない支援をしていくために、何ができるか？

部会員一人ずつ発言。

- 障害児支援の指標になっている5領域のスキルのアンバランスさが、大人になっても課題になっていることが共有出来た。放課後等デイサービスでも自己管理・生活基盤の底上げが必要であり、自己発信や情緒の安定も重要。

- 放課後等デイサービス卒業後に保護者との連絡が途絶えることが多く、進路先が分からない。また卒業までに何をできるようにしておくとかを知らりたい。それを事業所内で共有していくことが必要。
- 支援者同士の意見交換の重要性を実感。事業所間の認識を深め、連携を強化していきたい。
- 就労後に必要なスキルを事前に把握することで、日々の支援に活かせる。感情の起伏など基礎的な力を育てつつ、本人の強みを一つでも多く伝えることでそれを生かしていけるのでは。
- 現在の支援が将来の大人の姿につながることを意識していきたい。就労先に支援内容を伝える手段（ツール）を作れるとよいのでは。合同部会で共有できる仕組みを作れると良いと思う。
- 療育や保育園での支援は基本の基の部分を感じた。親子・地域の園との連携が重要。保護者が抱えている将来に対する不安の解消のためには、今できる身近自立や特性理解が土台になる。園に持ち帰って共有したい。
- 小学校から高校までの切れ目のない支援を意識し、個別支援計画を作成している。しかし学校を卒業してしまうと支援が途切れる現状を踏まえ、関係機関との情報共有が必要と感じた。
- 小中高までは支援があるが、就労先の情報が入らず切れ目が生じる。学校や学校教育課との連携を通じて、支援者が過去の情報にアクセスできるようになり、支援者が繋がっていくことが切れ目のない支援に繋がるのではないかと。
- 就学相談の中でも、将来の就職先を見据えた環境選びが重要と保護者さんに話している。学校も研修や見学を通して事業所や企業の知識を得る必要がある。
- 保育園でも支援が必要な保護者が増えている。将来の見通しを持った保育や子育てが出来ることが大切と感じた。
- 学校・家庭での幼少期の状況を知るツールや、連絡手段の整備が必要。情報の蓄積と共有が切れ目のない支援につながる。
- 学校卒業後に、社会のルールに突然適応を求められることが大変だと思う。そんな時に趣味や好きなことを事前に把握し、本人に合った声かけや支援が行えれば、安心感につながると思う。事業所間の情報交換と定期的な会の開催がそういった状況の構築につながるのではないかと。
- 放課後等デイサービス職員が卒業児にとって信頼できる存在というお子さんも多い。保護者に職業準備性ピラミッドの基礎土台（自己管理能力やコミュニケーション力）を幼少期から積み上げることが大切。例えば家で留守番が出来るか、自分で健康診断に行けるか等のスキルも必要で、保護者にもそれを伝えていけると良い。
- 担当者の異動などで支援が途切れることも理解し、制度の限界を認識しつつ、見学会や会議を通じて支援者間の接点を増やして繋がっていったらと思っている。制度にない草の根的な活動や非公式なつながりも活用していけると良い。
- 受け入れ体制を考えていきたい、以前の情報がどこにあるか分

かると支援に生かせる。企業の受け入れをどう広げていけるかも課題。

- 職業準備性ピラミッドが重要。企業は定着できる人材を求めており、支援者の存在や基本的な生活スキル（挨拶など）が重視される。
- 実際の就労現場を見学することで、就労につなげるための支援のイメージを持っていただけるのではないか。福祉サービス説明会の開催も有意義。合同での開催も理解促進にもつながるのではないか。
- 制度が切れ目を作っているが、本人には切れ目はない。卒業生の活躍が評価につながる。卒業生と交流する機会を作るのも良いのではないか。
- 事業所で幼少から関わり、就職できた方が3人いる。保護者にも情報を共有し、何が大切かを理解してもらうことが必要。良い事例を共有するのもよいのではないか。情報共有のツールがあるとよい。
- 情報共有ツールは良い案だと思う。今年度より福祉サービスの給付が、児・者共に介護福祉課に一体化されたので、今後見えてくるものがあると考えている。

(2) 来年度、合同で何が行えるか？

→時間の都合により、(1)でも意見が出たため割愛。

## 8 まとめ

切れ目のない支援のために必要なこと

- 来年度の合同部会では、支援の成功事例を共有し、他事業所や支援者が参考にできるようにする。
- 小さな支援の積み重ねや日常の様子など、幼少期からの情報を蓄積できる仕組みとしてヘルピーネットの活用が重要。ヘルピーネットは、過去の支援履歴を確認できる日進市が推進する信頼性の高いシステムであり、支援者が自分のタイミングで閲覧・更新できる利便性がある。放課後等デイサービス、学校、就労支援、企業など異なる支援者間の情報共有を可能にするツール。個別支援計画のデータ化と共有を進め、複数事業所間でのモニタリングや連携が可能になるようにする。制度や担当変更による「切れ目」を補う。
- 支援者や相談員が横のつながりを持つ。  
→合同部会の継続を確認。  
→10月20日開催予定のヘルピーネット勉強会の周知を実施。

提出書類

別添のとおり

次回開催日時

子ども部会：令和7年12月17日

次回会場

日進市障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第3回	子ども部会
日 時	令和7年10月15日（水）10時00分～12時10分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 谷本 由美	
② 山本 哲也	
③ 岡田 美穂	
④ 大嶋 翔太	
⑤ 大石 葉子	
⑥ 阿尾 匡晃	
⑦ 丸山 美希	
⑧ 浅野 紗織	
⑨ 藤森 祐紀	
⑩ 近藤 文子	

（市職員）

① 奥田 佐智子	② 福田 早希（欠席）
----------	-------------

（事務局）

① 武田 裕子	② 宇佐美 香津美
③ 日岡 由季枝	④ 西澤 伸太郎（欠席）
⑤ 白井 暢子	

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	就労部会
	令和7年10月15日(水) 10時00分～12時10分	
会 場	日進市障害者福祉センター 大会議室	

就労部会専門部会員	
① 中屋 優	② 中河 智幸
③ 小山 喜久(欠席)	④ 中田 義雄
⑤ 水谷 公哉	⑥ 関谷 悠
⑦ 吉川 正洋	⑧ 鈴木 英雄(欠席)
⑨ 岡田 倫和(欠席)	⑩ 村野 政章(欠席)
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子	

(市職員)

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

(事務局)

① 渥美 則親	② 八木 柚月(欠席)
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	宮川みどり	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	就労部会	
日 時	令和 8 年 2 月 27 日（金） 14 時 30 分～15 時 35 分		
会 場	Zoom 会議		
出席者	部会員 7 名	市職員 1 名	事務局 5 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍 聴 者	有り・ <input type="checkbox"/> なし		
次第	<p>1 今年度の持ちこし課題</p> <p>1) 日進市内障害者施設商品作業カタログについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製本された冊子の設置場所（90 冊）</li> <li>・QR コードのついたチラシの作成について</li> </ul> <p>2) 来年度の福祉的就労説明会について</p> <p>3) 福祉的就労説明会に対する、自立支援協議会本会でのご意見への対応について</p> <p>2 来年度の部会の開催について</p> <p>1) 来年度の開催について</p> <p>3 来年度の部会長・副部会長の選任について</p> <p>1) 来年度の部会長について</p> <p>2) 部会長・副部会長挨拶</p>		
報告・検討の内容	<p>1 今年度の持ちこし課題</p> <p>1) 日進市内障害者施設商品作業カタログについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製本された冊子の設置場所（90 冊）（八木）</li> </ul> <p>日進市内の公共機関及び、市からの依頼で道の駅にも置いていただけることになったことの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・QR コードのついたチラシの作成について</li> </ul> <p>パッソ日進利用者さんへ依頼していきたいことを説明。部会員に承認をいただく。</p> <p>→パッソ日進の中で実施していただく利用者さんの選定を行い、利用状況・就職状況を確認しながら、完成予定日について決定していく。</p> <p>2) 来年度の福祉的就労説明会について（中村）</p> <p>企画書を用いて令和 8 年 6 月 5 日に日進市民会館で開催予定であること、また内容について説明を行う。コアメンバーでの振り返りを行ったところ、来年度の説明会では就労選択支援の説明に重点を置く必要があるという意見が出ている。また、今年の福祉サービスの説明の際には、実際に事業所からの話があった方が分かりやすいのではないかという意見が反省点として挙がっていたため、今回は就</p>		

労選択支援を行っているエール天白さんにお話をさせていただいてはどうかと考えて企画したことを説明。

<出された意見>

- ・就労選択支援が本格的にスタートしているのであれば、その現状を説明会で伝えることでよいのではないか。豊田市ではアセスメント実習より就労選択支援が優先となっている。日進市ではどうなのか？

→介護福祉課より「日進市でも同様。」と説明がある。

- ・先にB型や生活介護の事業所で「やっていること」から説明すると同じ作業内容であるため混乱しやすい。まず概念から説明した方がよい。

→岡田先生が小学校低学年の保護者向けに説明した写真付き資料があり、それを介護福祉課の説明の参考にしていくことに。

- ・福祉サービスを使っていない通信高校の生徒の保護者さんなど、基礎知識がない人は特に分かりにくいかもしれない。
- ・福祉サービスを使う方が対象であり、相談員が関わる方。動画の作成や『にっしんの福祉』を渡すことも大事だが、最終的には相談員にしっかり相談してくださいと伝えることで対応できるのではないか。

- ・来年度は「分からない人向け」の説明会を別に設けるか検討が必要なのか？

- ・「誰でも参加できる説明会」だと思って参加し、理解に差があり、理解が追いつかない参加者が出ている可能性がある。

→来年度はアンケートに「個別対応を希望しますか？」という項目を入れ、個別相談につなげていく。

### 3) 福祉的就労説明会に対する、自立支援協議会本会でのご意見への対応について

本会議で「A型・B型と言われても、何か分からない。」という意見が出た。用語だけではイメージが湧かず、理解しづらい。今年の説明会では、事業所から直接話を聞いた方が分かりやすいという意見もあったため、それを事業所紹介動画の新規更新で補えないかと思っている。以前動画を作成した事業所が廃業し更新できないため、名古屋学芸大学の草野先生に動画作成へのご協力を打診しており、予算の編成作業を進めていると説明（日岡）

<出された意見>

- ・転職サイトのように「アットホーム」「きっちり」など、事業所の雰囲気を示すアンケートを作ってはどうか？アンケートを更新していく方が、動画の更新よりも手間が少ないのではないか。

→草野先生より「動画のフォーマットを統一しておくとし差し替えが容易になる。バラバラの形式だと作り直しが必要になり、編集の手間が大きい。統一フォーマットで撮影してもらえば、事業所側の負担も大きくないので今回はその手法で取り組んではどうか？」とアドバイスをいただく。

→来年度予算が承認され次第、動画作成を草野先生と学生さんに依頼していく予定。

## 2 来年度の部会の開催について

### 1) 来年度の開催スケジュールについて（宮川）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催スケジュール（案）を用いて説明。</li> <li>→検討課題の8月の開催については、部会員全員が使える共通のツールがZoomであることから、8月21日（金）にZoomでの会議実施となる。</li> </ul> <p>3 来年度の部会長・副部会長の選任について</p> <p>1) 来年度の部会長について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会長を今年度副部会長の中河さんにお引き受けいただくこと、副部会長については本日ご欠席の日進ワークキャンパスさんに打診中であることを報告。</li> </ul> <p>2) 部会長、副部会長挨拶（水谷・中河）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水谷さん退職のため、次年度は新しい方が部会に参加されることの報告があった。</li> </ul>
提出書類	別添のとおり
次回開催日時	令和8年4月10日（金）
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室

## 日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	就労部会
	令和 8 年 2 月 27 日 (金) 14 時 30 分 ~15 時 35 分	
会 場		

専門部会員	
① 中屋 優 (欠席)	② 中河 智幸
③ 小山 喜久 (欠席)	④ 中田 義雄 (欠席)
⑤ 水谷 公哉	⑥ 関屋 悠
⑦ 吉川 正洋 (欠席)	⑧ 鈴木 英雄 (欠席)
⑨ 岡田 倫和	⑩ 村野 政章
⑪ 菅原 淳	⑫ 草野 圭一
⑬ 竹内 由美子 (欠席)	

(市職員)

① 吉ノ元 菜乃	
----------	--

(事務局)

① 渥美 則親 (欠席)	② 八木 柚月
③ 宇佐美 香津美	④ 日岡 由季枝
⑤ 宮川 みどり	⑥ 中村 美智子